

## 66. 認知症カフェ りぼんの開催

グループ名	ジネスボランティア
代表者	岡三恵子



### ① 活動目的

- ・認知症の人やその家族、地域住民が安心して気軽に集い、交流又は地域包括センターの専門職などが常駐して相談を行うことが出来る場の提供をする。
- ・認知症の患者とその家族の孤立防止、介護者たる家族の負担軽減並びに地域住民の認知症に対する理解の促進を図る拠点づくり。

### ② 活動概要

#### (1) 実施場所

- ・毎月第2・4日曜日の2回糸島市社会福祉センターあごらにおいて開催。
- ・利用者が高齢者であることを踏まえ椅子、テーブルなどを配置し参加者が移動しやすいスペースを準備する。
- ・飲食を提供するので、厨房などの設備が整っている場所を選択。

#### (2) 運営スタッフ

- ・スタッフは、認知症サポーター養成講座を受講し認知症の人の関わり方を研修する。
- ・地域包括センターとの連携を図り支援をお願いする。

#### (3) 運営内容

- ・参加された皆様に、五感(目・耳・鼻・舌・皮膚)を通して生じる五つの感覚を刺激してゆったりとした雰囲気、リラックスでき、楽しんでいただくように心配り。

その五感とは・・・・・・・・

視覚	明るい部屋で四季折々のインテリアを楽しむ
聴覚	毎回ジャンルの違うBGM、音楽家による生演奏
嗅覚	アロマの香でリラックス
味覚	おいしい飲み物、お菓子など
触覚	アロマオイルを使ったアロマセラピー、工作 折り紙など

#### (4) 活動の1日の流れ

- ・スタッフ12:00に集合し、その日の開催内容の確認と部屋のセティング、及びお茶の用意などの準備をする。
- ・受付準備 13:00に来場されるゲストのお名前を記帳し、個々にネームプレートを掛けていただく。
- ・参加料金 200円/一人
- ・ゲストに一息ついていただくため、喫茶(好みの飲み物)を提供  
当日の準備した催し物の説明をする。それを実施する。

- ・ 15 : 00 に再度喫茶の準備
- ・ 16 : 30 頃皆様帰宅～ 後片付けと反省会后 17 : 00 終了

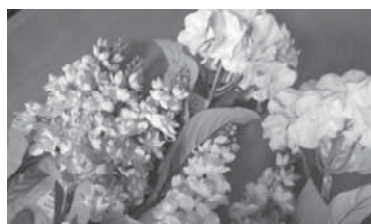
(5) 2016年9月～2017年8月(12か月)の活動実績

回数	開催日	ゲスト	スタッフ	包括	計	活動内容
1	9/11	10	5	1	16	りぼん敬老会、写真撮影、包括講話「健康的な暮らし方」
2	9/25	18	6	1	25	九大落研の落語 六松亭四津米、六松亭十一
3	10/2	8	5	1	14	工作・ハロウィングッズを選ぼう。体操
4	10/23	8	5	1	14	ハロウィンで仮装。折り紙。体操
5	11/13	5	5	1	11	秋の味覚を楽しもう。お手玉遊び
6	11/27	3	4	1	8	転ばん体操と談話 アロマセラピー
7	12/4	7	4	1	12	工作 クリスマスの飾りを作る
8	12/18	7	4	1	12	クリスマス遊び(歌、プレゼント交換)
9	1/15	10	5	2	17	三社参り(産宮神社、志登神社、桜井神社)
10	1/29	7	5	1	13	ゲーム輪投げ、お手玉(志摩包括より見学)
11	2/12	8	5	1	14	椅子に座って体操 健康維持の質疑応答
12	2/26	9	6	1	16	的ゲームで遊ぶ、しりとり歌合戦
13	3/12	11	6	1	18	茶道 お茶を楽しむ。包括より講和
14	3/26	11	6	2	19	外出支援 唐津うまかもん市場に行く
15	4/9	6	4	1	11	綾小路公磨のビデオ鑑賞
16	4/30	7	5	1	13	工作 折り紙で鯉のぼりをつくる
17	5/14	9	4	1	14	外出支援 鏡山
18	5/27	7	4	1	12	工作 肩たたき棒を作る
19	6/11	7	5	1	13	出前講座 (認知症について理解)
20	6/25	7	5	1	13	落語(粗忽家酔三)
21	7/9	9	5	1	15	工作 七夕飾りをつくる
22	7/23	7	5	1	13	手芸 日よけ手袋を作る
23	8/6	8	4	1	13	工作 貝合せで作るストラップ
24	8/20	7	5	1	13	体操 健康維持についての談話
合計		196	117	26	339	

スタッフエプロン購入



インテリア(花)



インテリア(室内)



外出支援



外出（唐津鏡山）



外出（三社参り）



外出



秋の味覚



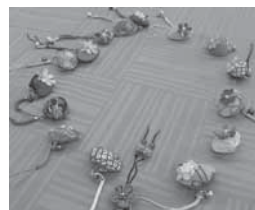
包括支援センター指導



九大落研



貝合せ作り



クリスマス飾り作成



折り紙



折り紙



手芸



クリスマス飾り作成



椅子体操



転ばん体操



## (6) まとめ

- ・参加者の状況は下記の通り

＊ りぼんに参加される皆様の8割が単身高齢者の方である。

- \* 友達もいなく引きこもり状態でしたが、りぼんに参加するようになって、顔見知りになり会話をするようになった。
- \* 近所に住んで居ながらお互いに知らず、りぼんをきっかけに家に行き来するようになり、食事会などもして友達の輪が広がった。
- \* りぼんの一日は受け身の状態でなく参加しながら行動を促すプログラムを主体としており、手足、頭を使うことで、忘れ掛けた昔の思い出が蘇り元気が出たとの意見をいただいた。
- \* 包括支援センターよりの色々な情報発信がとても参考になった。又相談しやすい場の雰囲気、質問も出しやすい。新しい情報を届けてくれるので、皆様喜んで
- \* 年3回の外出支援は、包括支援センターの車を2台で実施。  
始めて行く場所の人が多かったので、高齢者にとって大変喜ばれた。
- \* 工作、手芸に関して、指導者の前準備もあり時間内で完成出来て参加者も大変満足されていた。また手間取ってる方がいると、隣の人達が助け合っていた。
- \* 参加者の家族の方から、時々花の差し入れがあり、皆さんに分けて持って帰っていただいている。りぼんに参加することがとても楽しみで待ちきれないとの意見を多くいただいた。
- \* 個人的な情報交換の場となり、個人の病歴とか、病院の情報など会話に皆様関心を持って聞かれている。

・これまでの問題点と今後の展望

- \* 毎回の会場作りに手間と時間がかかる。(何もない部屋に5感を感じさせる空間の設定)  
準備に手間と時間を縮減できる方策を工夫する必要あり。
- \* 糸島市の地域の交通網が不便で、りぼんに参加したくても足がないという理由から、近場の方しか参加出来ないという現実がある。参加者を増やすために他の施設からの送迎も含め方策を考える必要がある、

③ 決算報告書

収入	大同生命厚生事業財団助成金	100,000 円
支出	エプロン10枚 @4,450	44,500 円
	菓子	34,139 円
	珈琲	9,906 円
	緑茶、抹茶	5,796 円
	工芸材料代	13,241 円
	生花、プランタ代	7,839 円
	支出合計	115,421 円